

日本人類遺伝学会第 26 回大会記事 (1981)

Proceedings of the 26th Annual Meeting of the Japan Society of Human Genetics, 1981

会 場 福岡市中央区天神 4 丁目 8 番 10 号 都久志会館

会 期 昭和 56 年 11 月 5 日, 6 日, 7 日

大会会長 柳瀬敏幸教授 (九州大・内科)

発 表 学会賞受賞講演

吉田 昭 (City of Hope National Medical Center): 東洋人と白人のアルコール代謝
の遺伝的相違

特別講演

Eldon H. Sutton (テキサス大・動物): Hypomorphs, exomorphs, and human
variation

教育講演

高木康敬 (九州大・生化): ヒトの遺伝子クローニング

シンポジウム

血液の遺伝標識 司会 柴田 進 (川崎医科大学長)

第 1 日 (11 月 5 日)

柳瀬大会会長の開会の辞のあと, 午前中に A, B 2 会場で一般講演 33 題の発表があった。午後
は教育講演に引き続いて, 33 題のポスター・セッションでの展示発表が行われた。

第 2 日 (11 月 6 日)

午前中, 2 会場で 40 題の一般講演の発表があった。午後は, 総会議事に引き続いて学会賞授賞
式, 同受賞講演が行われた。ついで特別講演があり, そのあと記念撮影となった。講演終了後, 懇
親会が開かれた。

第 3 日 (11 月 7 日)

午前中, 一般講演 44 題が A, B 両会場で行われ, 午後は, シンポジウムを最後に全日程を終了
し閉会となった。

評議員会

日 時: 昭和 56 年 11 月 4 日 17:00~19:00

場 所: 博多全日空ホテル

I. 報告事項

1) 庶務報告 (黒木幹事)

- (1) 会員の異動状況が報告された。
- (2) 本年 6 月に評議員の改選が行われ, 佐々木本道, 笹月健彦, 中島 章の 3 氏が新理事に, 井
関尚栄, 井上英二, 三輪史朗, 柳瀬敏幸の 4 氏が新学会賞選考委員に選出された。
- (3) 本年の理事会は, 9 月新旧合同理事会, 11 月理事会の 2 回開催された。

- (4) 理事など業務分担, 幹事の委嘱が次のごとく報告された (井上会長).

国際人類遺伝学会常置委員会 (井上委員), 会計 (中島理事), 会計監査 (松永・笹月理事), 編集 (外村委員長), 国際遺伝学連合 (柳瀬理事), 科研費および日本医学会評議員 (三輪理事), 遺伝子操作 (佐々木理事), 庶務幹事 (黒木評議員), 会計幹事 (池内評議員), 編集幹事 (笹月理事の兼任)

- 2) 会計報告 (中島理事, 池内幹事)

- (1) 昭和 55 年度会計報告がなされた.
 (2) 松永会計監査担当理事より監査報告があった.
 (3) 昭和 56 年度会計中間報告がなされた.

- 3) 編集報告 (外村委員長)

論文の投稿, 受理状況等につき報告がなされた.

- 4) 委員会報告

- (1) 学会賞選考委員会 (井上委員長)

本年 2 月 18 日の学会賞選考委員会で, 吉田 昭氏を本年度の学会賞受賞者に満場一致で決定した (学会記事参照, 人遺誌 26 巻 1 号, 66 頁)

- (2) 遺伝相談ネットワーク委員会 (半田委員長)

遺伝相談ネットワーク委員会報告書が提出され, 補足説明があった. なお, 本委員会は業務を終了し解散することになった.

- (3) 人類遺伝学用語委員会 (外村委員)

業務の進行状況などの報告があった (理事会記録参照).

- 5) 理事など担当事項報告

国際人類遺伝学会常置委員会 (井上委員), 文部省科研費関係 (三輪理事), 日本医学会評議員会 (三輪理事), 日本医学会用語委員 (外村委員) よりそれぞれの報告がなされた.

- 6) 昭和 57 年度大会準備状況報告 (松永次期大会長)

昭和 57 年 11 月 9 日~11 日, 東京都千代田区大手町農協ビルで開催する旨の報告がなされた.

- 7) その他

遺伝研改組問題 (井上会長, 松永理事), 学術会議よりの国際会議派遣問題 (井上会長, 梶井評議員), 日本遺伝学会開催 (柳瀬理事), 国際細胞生物学会への後援 (井上会長), 国際ガン研究データベースへの学会抄録の収録 (井上会長) などに関する報告がなされた.

II. 協議事項

- 1) 次期会長候補として, 井上英二現会長が満場一致で推薦された. それに伴い空席となる学会賞選考委員に, 岡島評議員が選出された.

- 2) 会員の規定に関する会則の一部改正が討議され, 次のとおりの改正案が示された.

第六条「会員は……, 維持会員は金 10,000 円以上を……」を, 「会員は…… 金 100,000 円以上を……」と改める.

- 3) 業務終了に伴う教育委員会, 遺伝相談ネットワーク委員会の解散が協議され了承された.

- 4) 58 年度大会開催について協議され, 松本秀雄大阪医大教授を大会長に, 近畿地方で開催されることが了承された.

- 5) 名誉会員として, 林 一郎氏 (長崎大学名誉教授), F. Vogel 氏 (西独・ハイデルベルグ大学教授), J. Lejeune 氏 (仏・パリ大学教授) が満場一致で推薦された.

総会議事**I. 報告事項**

- 1) 庶務報告 (黒木幹事)
会員の異動状況, 理事選挙, 学会賞選考委員の選挙結果, 理事会の開催, 理事業務分担, 幹事委嘱についての報告があった。
- 2) 会計報告 (池内幹事)
昭和 55 年度会計報告ならびに監査報告がなされ, 引きつづいて昭和 56 年度会計中間報告がなされた。
- 3) 編集報告 (外村編集委員長)
論文の投稿, 受理状況等についての報告があった。
- 4) 委員会報告
学会賞選考委員会 (井上委員長), 遺伝相談ネットワーク委員会 (半田委員長), 人類遺伝学用語委員会 (外村委員) よりそれぞれ報告があった。
- 5) 理事など担当事項報告
文部省科研費関係 (三輪理事), 国際人類遺伝学会常置委員会 (井上委員) より報告がなされた。
- 6) 57 年度大会準備状況について報告があった (松永次期大会長)。
- 7) その他
日本遺伝学会福岡開催 (昭和 57 年) について, 柳瀬次期大会長より報告があった。

II. 協議事項

- 1) 次期会長候補として評議員会より井上英二現会長が推薦され, 満場一致で次期会長に決定した。
- 2) 井上委員の会長就任に伴い空席となる学会賞選考委員には, 次点の岡島評議員が推された承された。
- 3) 会員の規定に関する会則の一部改正案 (第六条, 評議員会記録参照) が提出され, 原案どおり了承された。
- 4) 教育委員会, 遺伝相談ネットワーク委員会の業務終了に伴う解散が提案され, 了承された。
- 5) 昭和 58 年度大会開催地, 大会長として, 近畿地方, 松本秀雄大阪医大教授の案が示され, 了承された。
- 6) 林 一郎, Friedrich Vogel, Jerome Lejeune の三氏をそれぞれ 37 人目, 38 人目, 39 人目の名誉会員として推薦することが提案された承された。

理 事 会

日 時: 昭和 56 年 11 月 4 日 15:00~17:00

場 所: 博多全日空ホテル

出席者: 井上会長, 松永, 三輪, 中島, 笹月, 柳瀬各理事, 半田, 外村各委員長, 池内, 黒木各幹事

- 1) 会計関係では 55 年度会計報告と松永理事の監査報告があり, 56 年度会計中間報告がなされ, 会費納入率を上げる方策が検討された。
- 2) 編集関係では, 外国からの投稿も増加している旨の報告があり, さらに国内外からの投稿を期待するとの発言があった。

- 3) ネットワーク委員会より「遺伝相談ネットワーク委員会報告」が提出され、本委員会は解散されることになった。また、報告書に対する意見があれば会長に出すこととなった。
- 4) 人類遺伝学用語委員会田中委員長の病氣療養に伴う委員長人選については、当委員会で検討することになった。
- 5) 名誉会員として3名が推薦され了承された (評議員会記録参照)。
- 6) 1986年国際人類遺伝学会開催候補地として西独、カナダ、インド、日本があがり、郵便投票で決定されるとの見通しが報告された。
- 7) 昭和57年度大会準備状況報告、および昭和58年度大会開催地と大会長案が示された (評議員会記録参照)。
- 8) 会則の一部改正 (第六条) が検討された。
それに関連して、若手研究者の人類遺伝学関係国際会議派遣問題が討議された。